

FIRST TIME USE

1 最新のWitrox 互換ソフトウェア (WitroxView (無料)、AutoResp または OmniCTRL) を弊社Webサイト (www.loligosystems.com/downloads) からダウンロードします。画面の指示に従って、PC を再起動します。

FOR EACH TRIAL

2 WiBuコピー防止ドングル(ソフトウェア ライセンスを含む)をPCのUSB ポートに接続します (2a)。NB. 1台のPCから一度に1つのLoligo®ソフトウェアのみを実行してください。

3 推奨される長距離BluetoothアダプターをPCのUSBポートに接続します (2b)。PCの組み込み/その他のBluetoothを無効にすることを忘れずにお願いします。

- a. Witroxの電源アダプターをコンセントに接続し、USBケーブルを背面のソケットに接続します (または、USB ポートから直接Witroxに電力を供給します)。
- b. PT1000 温度センサーを、Witrox 装置の前面にある「Temp」というラベルの付いたソケットに接続します。
- c. Witrox前面にある CH1 ~ CH4 というラベルの付いたSMAポートにセンサーを接続します。
- d. 電源ボタン (左下) を押して Witroxの電源を入れます。デバイスは300秒間使用しないタイムアウトになることに注意してください。

CALIBRATION, SERVICE & MAINTENANCE

センサーは、使用前に校正する必要があります。手動キャリブレーションの手順は次のとおりです。(5.1 and 5.2):

- a. 空気と水を平衡にしたサンプルにセンサー チップを置きます。平衡させるには大気をサンプル水にバージすることで実現できます。エアポンプ等を使う。
- b. 読み取り値 (センサー信号) が安定するまで待ちます。安定したらRead current values を押してHIGH calibration valueとして保存します(100 % air saturation)。
- c. センサーを無酸素水のサンプルに移します。サンプルを作るにはサンプル水に窒素ガスをバージするか、蒸留水 500 ml に約10 gの Na2SO3 を溶解します。
- d. 読み取り値 (センサー信号) が安定するまで待ちます。安定したらRead current values を押してLOW calibration valueとして保存します(0 % air saturation)。

NB. ソフトウェアキャリブレーションメニューは、使用しているソフトウェアによって異なる場合があります。詳細については、優先ソフトウェアのユーザーマニュアルを参照してください。

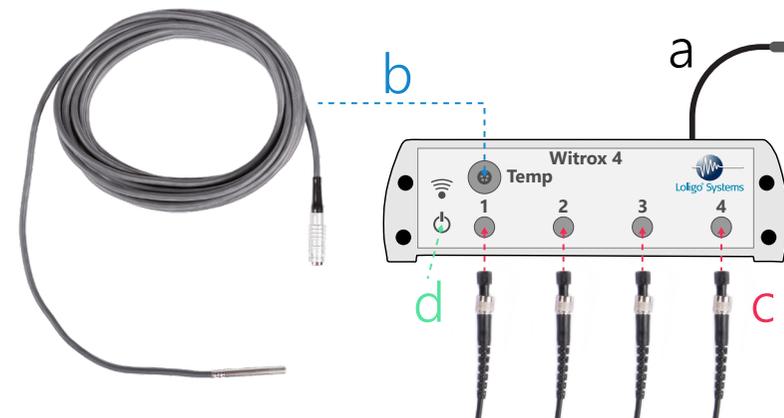
6 酸素センサーを洗浄するには、刺激の少ない石鹼液または漂白剤を使用し、脱塩水ですすいでください。その後、乾燥させます。water. Then dry.

7 蛍光色素が紫外線にさらされるのを避けるため、酸素センサーを暗い場所に保管してください。UV光はセンサー色素を漂白し、信号強度 (振幅) を低下させますので取り扱いにご注意ください。

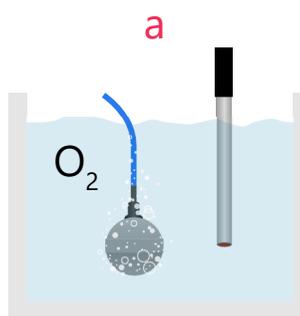
2



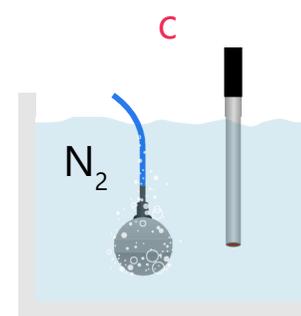
4



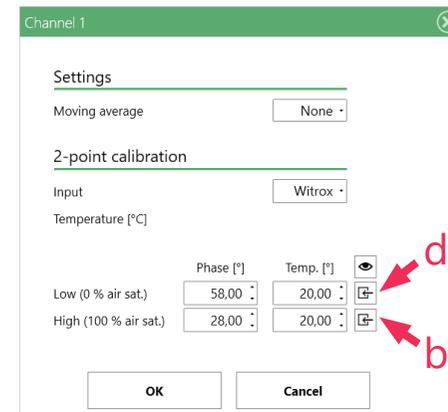
5.1



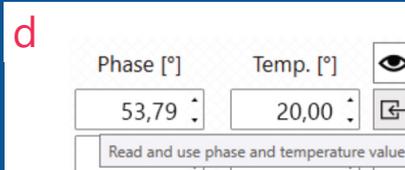
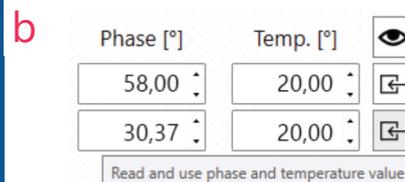
100 % air sat.



0 % air sat.



5.2



6

